

# 報道配布資料

平成 21 年 8 月 26 日

所属名	所属長名	部局長名	担当者職・氏名	連絡先
公立大学法人 山口県立大学	理事長兼学長 江里健輔	共通教育機構長 松尾 洋	地域共生演習担 当教員 准教授 シャルコフロバート	083-928-4764 090-7122-3662
発表内容の 関係地域	全県、岩国、柳井、周南、山口、防府、宇部、小野田、下関、長門、萩、 首都圏			

## 1 件名

現代 GP（地域）の具体的な取り組みについて

～山口市荒高地区の祭り「もりさま祭り」での女みこし神幸の復活 3年目の挑戦～

## 2 趣旨

一昨年度、山口県立大学と野田学園高等学校が相互に連携・交流する高大連携事業の一環として、山口県立大学の共通教育科目「地域共生演習」を履修する学生たちが中心となり、山口市荒高地区の祭り「もりさま祭り」のみこし神幸を女みこしとして復活させた。この取組は文部科学省に採択された現代GP（やまぐち多世代交流・地域共生授業の展開ー山口市の都市部と田園部におけるワークショップ型授業による団塊世代と若者の定住促進ー）の事業の一つともなっている。今年度はこの2年の経験を生かし、3度目の挑戦となる。地域の高齢化や少子化に伴って祭りの将来が危ぶまれた3年前と比べ、本学や野田学園高等学校からみこし神幸の参加者を募るだけでなく、祭り全体の企画・運営にも本学の若い力を導入することによって祭りの存続にも希望が湧き、同様の問題を抱えている他の地域のモデルともなる事業と考えられる。

## 3 日時、場所

平成 21 年 9 月 1 日（火）

14 時 00 分～30 分 今八幡宮（山口市八幡馬場）にて神事

14 時 30 分 今八幡宮出発～ 堅小路 ～NAC（中市）を神幸（リヤカーにてみこし運搬）

15 時 00 分 女みこし・子どもみこしが商店街（中市～長寿寺）を約 150 人で神幸  
NAC にて祭りの由来についての紙芝居、その後、米屋町みずほ銀行前、  
道門駐車場の 2 箇所のみこし・太鼓打ちのパフォーマンス

16 時 30 分 御旅所（長寿寺：山口市本町）到着

## 4 概要

参加者：山口県立大学 学生 25 名 野田学園高等学校 生徒 40 名

女みこし：県立大学・野田学園高校 女子学生・生徒

子どもみこしの世話、みこし先導、太鼓打ちなど：同男子学生・生徒

## 5 問合せ先

シャルコフ ロバート 携帯電話 090-7122-3662